

第六 北米に於ける英国の初期植民

Fiske, John: *The Beginnings of New England*. Boston, 1892. — : *Old Virginia and her Neighbors*. Boston 1898. : *The Dutch & Quaker Colonies in America*. Boston, 1899.

サー・ハムフリー・ギルバート並にサー・ウォーター・ローリの植民地建設計画は失敗した。北米に於ける最初の恒久的植民地は、一六〇六年ジェームス一世より特許状を与へられし倫敦会社が、一六〇七年に建設せるジェームスタウンである。この地域はもとローリに与へられしものなるがローリ公権剝奪の後王領となり、更に之を倫敦会社並にプリマス会社に賦与せるものにして前者の領域は北緯三四—三八度、後者のそれは四一—四五度と定められた。奥地の境界は定められてゐない。

最初のヴァージニア移民は概ね一攫千金を夢みたる冒険者で農夫は僅に十二名であつた。一六一九年初めて百名の囚人を此地に送つた。また此年蘭人が初めて二十名の黒奴をアフリカより輸入した。其後一世紀間囚人は絶えず送られ、その労力は農場主に売られた。但し此後四十年間は黒奴の輸入は盛んでなかつた。

一六一九年植民者の要請により知事はヴァージニア諸植民地の代表者より成る議會を召集した。アメリカに於ける最初の此の代議機関は、本国のそれと出来るだけ近似せる行政の形態を植民地に採用することを決議した。一六二一年には成文憲法が發布せられ、之によつて会社は知事及び常設參事会を任命し、各植民地より二名づつ

選出せる議員によつて組織せらるる House of Burgesses が、参事会と共に General Assembly を形成するこゝとなつた。一六二四年会社は国王と争ひて解散し、植民地は王の直轄となつた。此時まで植民地の前途は暗黒であつた。主として栽培せらるるは輸出向の煙草で、囚人の混入は住民の性格に悪感化を及ぼした。印甸人との争闘もまた絶えなかつた。一六四九年には煙草価格甚だしく下落したので、収獲の半を焼棄した。コムモンウェルスの初めは王党であつたが、クロムウエルが艦隊を差向けたので屈服した。

ヴァージニアに於て最初の植民者等が奮闘しつつありし間に、プリマス会社もまた其の領内に植民地を建設すべく努力した。而も数次の遠征悉く失敗に終り、北米の此地方は白人の移住に適せずとさへ称へられたが、別個の事情によつて植民が行はれるに至つた。それにはまづ当時の和蘭事情を述べねばならぬ。第十七世紀初頭の和蘭は宗教的独立と植民的活動の故を以て名高かつた。信仰の自由のために和蘭に亡命せる英人は、彼等との交際によつて海外発展の雄志を鼓舞された。ライデンに居を構へたる清教徒等は東洋に於ける蘭人の壯図を聴いた。彼等は英国が西半球に領土を獲得せることを聴いた。彼等は会社が此の未開の地に送るべき移民に苦心しつつあるを聞いた。彼等は己れの力よく一切の困苦を克服すべきを信じた。彼等は他人の行くを欲せざる所に於て信仰の自由を享受し、同時に英国々旗に忠なるを得べしと信じた。かくて彼等は新英蘭移住に決した。彼等は会社及び国王と無用の商議を続けたる後一六二〇年九月六日メーフラワー号に乗りてプリマスを發し十一月新英蘭の海岸に着いた。如何なる困難も彼等の初志を枉げ得なかつた。彼等は敢然として一切の窮乏と戦つた。

プリマス植民地の憲法史は、既に植民者の上陸以前に溯る。蓋し彼等はメーフラワー船中に於て英国の主権を認め乍らも、自ら守り、法律を制定し、統治を維持する政治団体を組織したからである。彼等は知事を選挙し、

一切の男子教会員に参政権を与へた。一六三九年にはハウス・オヴ・レブレセンダティヴスが設けられた。役員は毎年選ばれた。かくて清教徒は貿易以外のことは全然会社の支配を受けなかつた。一六二二年、いま一つの植民地がウエイマスに築かれた。

一六二八年ジョン・エンディコットがサレムに遠征を試みた。国王はマサチューセツツ湾の名の下に此地方に對する特許状を与へた。植民者は会社を組織した。投票によつて選ばれたる知事以下の役人が行政事務に當つた。立法並に役員選挙の目的を以て毎年四回議會が開かれた。チャールストン、ボストン、ロックスベリ、サレム其他の都市がマ湾頭に築かれた。マ湾会社の特色は其の本部が植民地に在ることであつた。重役会が本部を母國に有せざるはマ湾会社を以て嚆矢とする。移民の数は増し、勢力は大となつたので早くも一六三四年には国王は植民地の独立を恐れ初めた。特許状は廢せられ植民地の政務に當るべき委員の任命を見たが、移民等は之に服従せず、反抗の準備に取りかかつたが、母國の内訌が国王をしてその意圖を実現せしめなかつた。

クロムウェル時代はマサチューセツツは其の自由を侵されることなかつたが、王政復古と共にまた紛糾が始まつた。植民地は議會が彼等に対して法律を制定する権利を否定した。一六六四年英国委員が調査のために來着した時、植民者とは彼等との一切の交渉を避けたので目的を遂げ得なかつた。知事及び二三の有力者が英國に召喚されたけれど之に應じなかつた。この不和の状態が其後廿年続いたが、一六八四年に至り大法官法廷は遂に特許状没収を確認した。

国王は直ちに新長官及び参事會議員を選任した。植民者は不本位乍ら屈從した。一六八九年、前年の英國革命の報道ボストンに伝はるや、植民者は起つて官吏を捕へ、公共建築物並に英船を占領した。同様のことが他の都

市でも起つた。先の知事が再び職に就き、代議士が選ばれた。この内憂の外に一六七五―七六年にはヒリブ二世の挑戦あり、一六九〇年には加奈陀の仏人と抗争した。時を同じくして魔術騒ぎが全植民地を風靡した。

一六九一年ウィリヤム及びメリーは従前とは趣を異にせる特許状を賦与した。マ湾・プリマス・メイン・アカディア（今のノヴァ・スコティア）は『新英蘭マ湾州』の名の下に一括された。知事、副知事、セクレタリー・オヴ・プロヴィンス、並に *Court of Admiralty* の役員は国王が任命することとなつた。参政権は価格二百ポンド以上の土地所有者又は不動産よりの年収一〇ポンド以上を有する者に制限された。議会は毎年各市より二名づつ選出せらるる議員より成る。そは立法権並にその議員の二十八名をカウンシラーに選出して事務を助けさせることを得る。知事は軍隊の司令官にして、議会に対して *veto* を有するが、法律の最後の批准権は国王之を保留した。天主教徒を除く一切の基督教信者は、その好む所に従つて神を拜することをゆるされた。この制度は独立まで続いた。

一六二〇年 *Sir Ferdinando Gorges* はプリマス会社の為に更めてジェムームス一世より北緯四〇―四八度間の地域に対する特許状を得た。清教徒及びマ湾移民が渡来せる時、彼は権利侵犯者として彼等を駆逐せんとしたが、当時僅にメインに若干植民部落を有するにすぎなかつたので如何ともし難かつた。一六三五年会社は其の特許権を棄てた。そこでゴージェスの子がマ湾地方以北の地域に対する特許状を得て、彼並に其の後継者が若干の都市を築いたが、クロムウェル時代に、六五一年マ湾は之を併合した。王政復古の後メインは一旦ゴージェス家に復つたが、マ湾は遂に六二五〇弗を以て之を買収した。一八二〇年までメインはマの一部であつた。此間一六七五―一七六〇年までは全然印甸人の横行に委せられて居た。

ロードアイランドはマ州の宗教的偏狭に堪えざりし Roger Williams, Wm Coddington が信仰の自由を求めて建設せるものにして、この植民地はヒリプ二世戦争の時に大なる損害を被り、また北米に於ける英仏争覇に重要な役目を勤めた。

新公ブシヤもマ州より分れたるもの、一六七九年王領となり、一六八九年再びマ州に合併、後紐育に合併されたが、一七四一年に独立した。

ヴァーモントは一七二四年以前には白人移民なかつた。此地は一七六三年まで新ハムブシヤの管轄下に在つたが、此年紐育が之を合併せんとしたので、ヴァーモント人は武器を執りて反抗しつつありし時に独立戦争勃発した。独立後も紐育との間に紛糾ありしが、一七九〇年紐育に三万弗を支払ひて分離した。

コンネクチカットは一六三九年一月四日、北米最初の成文憲法制定を以て名高い。一六八五年紐育に併合されたが、一五八八年の革命後また分離した。

新英蘭を除き、英人が建設せる其他の米國植民地の殆ど総ては、一時個人所有地の形式で統治されて居た。而してメリーランド、ペンシルヴァニア、デラウェアは長く此の形式が持続された。此等の植民地では国王の権力は個人に譲渡せられ、個人がその絶対的所有者となつた。彼等は知事を任命し、随意に議會を召集した。メリーランドでは国王さへも立法上の veto を有たなかつた。

メリーランドの最初の植民は一六三一年 W・クレイボーンがヴァージニアよりの移民を率ゐるチェサピーク湾内ケント島に行はれた。然るに一六三二年チャールス一世はバルティモア卿 Cecilus Calvert にメリーランドに対する特許状を与へたので其弟レオナード・カルヴァートが最初の長官として旧教徒二百名を率ゐ、一六三四年

三月廿五日セント・メリーに着いた。クレイボーンはカルヴァートの権利を承認することを拒んだので直ちに駆逐されたが、四四年に復り来りて知事を逐ひ、四六年また知事のために逐はれた。議会は一六四九年メリーランドを宗教の異問を問はず総ての人々に開放するに決した。但し一六五八年まで旧教徒と清教徒との軋轢絶えなかつたが遂に前者が勝利を得た。一六八八年国王は宗教上の理由でカルヴァートの権利を廢したが、一七一四年同家が新教に帰依するに及んでまた之を与へた。ヴァージニアと同じく煙草が主産であつた。

他の兩個人所有植民地に於ける英国統治は、信仰自由の徒使ウィリヤム・ペンに負ふものである。新ジャージー及びデラウェアは一六三〇年頃瑞典人によつて占領せられ、後に新アムステルダムを根拠とせる蘭人の手に移り、最後に一六六四年英領となれるものである。其後若干の英国クエーカーが此地に渡来した。然るに彼等のうち二人 Fenwick 及び Byllinge なる者の間に此地の所有権に対する争議を生じ、其の判決をクエーカー宗の指導者と認められたる W・ペンに仰いだ。ペンはバイリンジに有利なる判決を下したが、彼は多額の負債があつたので、全地域をペン及び他の二債権者に委ねた。然るに国王はペンの父に九万弗の借財があつたので、その代償として此の地域に対する特許状をペンに与へ、爾來ペン及び其の後継者は、毎年海狸皮二枚を払ひて、この大なる土地の所有権を獲得した。一六八二年、統治に関する法律を制定したる後ペンはアメリカに來り、有名な印甸人との条約に署名した。ペンシルヴァニア植民地はその優秀なる統治、永続せる平和、その知的向上の点に於て常に令名を馳せた。

デラウェアは蘭人放逐後、競争者間の争奪的となつたが、一六八二年ペンが之を買収して二十年間ペンシルヴァニアに併合したが、一七〇二年に分離して独自の議會を有することとなつたが、同一所有者によつて支配さ

れ、同一行政機関によつて統治された。

一六六四年チャールス二世はアメリカに於ける蘭人を簞奪者なりとしてデラウェア・コンネクチカット両河間の地域を王弟ヨーク公に譲渡した。ヨーク公は此の地域の南部をバークレー卿及びサー・ジョージ・カータレットに売却した。後者が曾てジャーシー島知事たりしに因んで、此地を新ジャーシーと名付けた。一六六五年彼の弟ヒリプ・カータレットが最初の植民地を築いた。一六七三年此地は蘭人のために占領されたが、一年の後に奪回した。然るに紐育知事サー・エドマンド・アンドロスは、その支配権を新ジャーシーに及ぼし、知事以下を捕へた。一六八一年所有者が勝利を得て之を回復したが、一年後にベン及び其他十一名のクエーカー宗徒が一切の権利を買収した。爾来此の植民地は該宗徒の避難地となつた。一七〇二年に至り所有者の間に意見の相違を生じ、その特許状を国王に還付した。爾来議会は各別なりしが、一長官が紐育並に新ジャーシーを管轄した。其後州民の請願により、一七三八年ルイス・モリスが新ジャーシー知事となつた。

紐育は一六六四年蘭人より奪取し、一六七三年一旦また蘭人の手に歸つたが、一六七四年の条約によつて英領となれるものである。この植民地は爾来急速に発達した。

カロライナは曾てローリーが占領せんと試み、また仏国新教徒がポート・ロヤルに拠つて植民せんとした地であるが、一六三〇年八名の英国貴族がチャールス二世より特許状を得、その憲法はジョン・ロックによつて起草されたものであつた。一七二九年に王領となつた。

ジョージアは最後に建設された植民地で、一七三二年ジョージ二世より特許状を賦与せられし一団が翌年より植民し初めたものである。